ISO白色度・不透明度測定器

ISO Brightness Meter

WMS-1

MCRL

MURAKAMI COLOR RESEARCH LABORATORY

TOKYO JAPAN

ISO白色度・不透明度測定器 ISO Brightness Meter WMS-1

概　要

本器は、紙や粉末などのISO白色度と紙やプラスチックフィルムなどの不透明度の測定器で、色差測定も可能です。本器により、JIS P 8148「紙，板紙及びパルプ－ISO白色度（拡散青色光反射率）の測定方法」（ISO 2470 MOD）や、JIS P 8149「紙及び板紙－不透明度試験方法（紙の裏当て）－拡散照明法」（ISO 2471 MOD）に規定された測定が行えます。

特　徴

白色度
ISO白色度並びにD65白色度も測定できます。

ダブルビーム
ダブルビーム方式なので長期安定性にすぐれています。

キセノンランプ採用
蛍光増白紙の白色度と蛍光強度を測定するために、光源にはキセノンランプを使用しています。

積分球
積分球内壁に硫酸バリウムを塗布した装置の場合は、キセノンランプの紫外線によって短期間で積分球内壁が劣化・黄変してしまい、測定値の再現性を 維持できません。本器では黄変しにくいPTFEを積分球内壁に塗布しているので、照明光の波長特性が長期間安定しています。

試料開口
積分球の試料開口は下向きなので、積分球内に埃が入りにくく安心です。

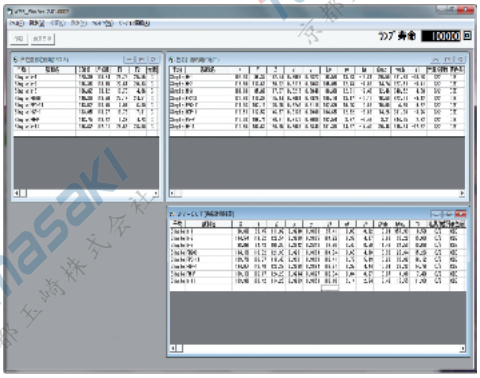
タッチパネル採用
本体の表示器はタッチパネルになっており、単体での測定が可能です。パソコンに接続してソフトウエア（別売り）の操作による測定も行えます。

仕　様

WMS-1	
測定方式	三刺戟値直読方法
幾何条件	150mmφの積分球による白色拡散照明／0° 反射受光
測定面積	φ30mm
試料開口面積	φ34mm
光源	キセノンフラッシュランプ　公称寿命　10万回点灯
受光器	シリコンフォトダイオード
測定時間	約2秒
測定再現性	0.04%以内　（標準白板を10秒間隔で30回繰り返し測定した場合のXYZ値・白色度標準偏差）
関連規格	JIS P 8148、JIS P 8149、JIS P 8150、JIS P 8152、ISO 2470、ISO 2471、ISO 5631、ISO 2469、TAPPI T525 など
インターフェイス	RS-232C準拠
消費電力	AC 100V 50／60Hz 4A
寸法	300（W）×410（D）×645（H）mm
重量	24kg

データ管理ソフト

WMS__Win Ver 2.01



用　途

・紙のISO白色度の測定
・紙、布、樹脂等の不透明度の測定
・紙、布、樹脂等の色差の測定

▲製品改良などにより仕様の一部を予告なく変更する場合があります。

●お問い合わせは下記まで

株式会社
村上色彩技術研究所

本社　〒104-0054　東京都中央区勝どき3丁目11番3号
TEL 03（3532）3011　FAX 03（3532）2056
URL http://www.mcrl.co.jp　E-mail sales@mcrl.co.jp

取扱店

MCRL